

クロカタビロオサムシ

Calosoma maximowiczii
(Morawitz)

コウチュウ目
COLEOPTERA
オサムシ科
Carabidae

カテゴリー

大分県
環境庁 掲載なし

選定理由 非常に希な種であり、近年生息の確認がほとんどなく、里山の荒廃による生息環境の悪化も懸念される。

県内分布 九重町, 別府市, 湯布院町, 緒方町

分布域 北海道 本州 四国 九州
シベリア東部 朝鮮半島 中国 台湾

生息環境 森林の林縁部の樹上で主にチョウ目の幼虫を捕食する。クヌギの樹液にも集まる。

現 状 近年は採集記録がほとんどみられない。

セアカオサムシ

Hemicarabus tuberculatus
(Dejean et Boisduval)

コウチュウ目
COLEOPTERA
オサムシ科
Carabidae

カテゴリー

大分県
環境庁 掲載なし

選定理由 局地的な分布を示す種で、九州の生息地は、高原の草地や岩れき地に限られる。県内では、道路の開発や側溝の整備などによる生息環境の悪化で、生息地の消滅や減少が懸念される。

県内分布 九重町, 別府市, 湯布院町, 久住町

分布域 北海道 本州 四国 九州
シベリア 朝鮮半島 中国

生息環境 高原地帯の草原, れき地。

現 状 由布・鶴見山系のすそ野草原には、一部に比較的多産する場所もあるが、その他の生息地では非常に個体数が少ない。

備 考 後翅が退化した歩行性の甲虫で、九重山群山顶部に近い岩れき地で発見されたことがある。

ウミホソチビゴミムシ

Perileptus (Perileptus) morimotoi
S.Ueno

コウチュウ目
COLEOPTERA
オサムシ科
Carabidae

カテゴリー

大分県
環境庁 準

選定理由 河川改修工事や周辺の工業用地化による河口付近の生息環境変化により、生息地の消滅や減少が懸念される。

県内分布 大分市, 蒲江町

分布域 本州 四国 九州 奄美
南千島 朝鮮半島南部

生息環境 河口付近の潮間帯の水辺の石下。

現 状 河口付近で僅かな個体が確認されている。